

影の様相

図面・模型

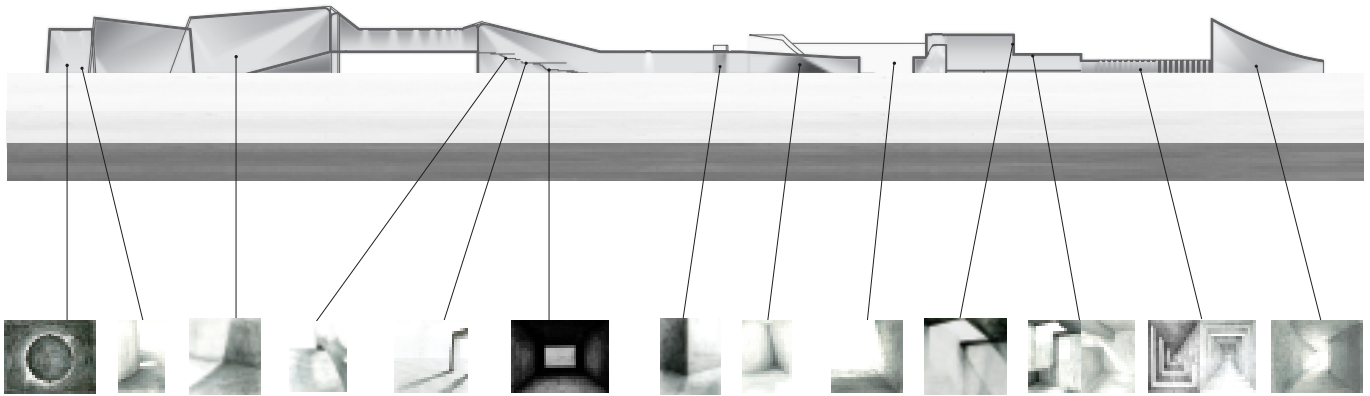
松本 玲子

Matsumoto Reiko

造形建築科学コース

影とは物体や人などが、光の進行を遮る結果、壁や地面にできる暗い領域である。

季節や天候や周辺の環境要素によって刻々と変化する光と影によって、空間は様々に特徴づけられる。こうした影がもたらす空間的効用を顕在化するため、様々な建築物のシーンにおいて見られる特徴的な影を有する空間を切り取り、一つの建築物として再構成することで、時間の経過により多様に変化する空間の様相を体験できる美術館を計画した。場所は水面の反射、風の揺らめき等を強く感じるこの出来る水に囲まれた島根県、松江市にある中州区域を敷地とした。



	空間の特別性を高める	人を誘導する			境界線を作る		柔らかな印象を与える		人を感じる	物を映す	モアレ	錯覚を起こす	空間の形を浮き出す	
	天候によって浮き出す	開口を影で認識する	明るい方へ導く	コントラストで目立たせる	借景	空間を区切る	影の長さで道を作る	境界線をぼかす	角が見えない	他人の動きを影で認識する	反射	2つ以上の影	異なる開口でも影が同じ	影が屈折する
明解	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
幻想			●		●								●	
曖昧							●				●			

